

# トウガラシの魅力を 古民家カフェから発信

山口・周南市 須田さん夫妻

〔山口〕周南市にイターン就農して15年目を迎えた須田浩史さん(47)と妻の加弥子さん(47)。群馬県出身の浩史さんは代々養蚕やコンニャク芋を手掛ける農家で育った。東京で就職したが、東日本大震災をきっかけに農業の継承や子育て環境について改めて考え、同市須金地区の農業法人に転職し、農家経営や農業技術を習得した。

2年後に独立し、キッチンカー「パンブー」を

オープン。「自ら育てた野菜を多くの人に食べてもらいたい」との思いを

かたちにした。自作のトウガラシを使ったグリーンカレーは好評で、青トウガラシを使ったカレーペーストのビン詰めは看板商品となっている。

現在は「辛



自作のトウガラシを手を須田さん夫妻

い、おいしいトウガラシの魅力を発信したい」と、世界各国約60種類のトウガラシを専門に栽培。昨年9月にはトウガラシの発信拠点として古民家カフェ「山とCHILLI」をオープンした。

「就農をめざす若者に、農家の多角的経営の事例の一つとして多様な働き方を示せたら」と須田さん夫妻。これからの農家経営の多様な発展に貢献したいとの思いは強い。

(周南市農業委員会)